

令和7年度事業報告書		事業所名	訪問ヘルパーセンターしおかぜ琴浦		作成者	杉原 弘茂		作成日	R8.3.31	
目標	本年テーマ	(計画) 専門的技術及び知識を身につける								
		(評価) 法定研修の内容については理解が進んだ。訪問介護事業に対する知識を来年度は高めていく必要がある								
基本処遇及び運営	■令和7年度処遇及び運営方針に対する評価									
	(計画)①個人で一年間の研修目標を立てる。(登録職員以外)									
	②個人目標に沿った研修計画を管理者が立案する。(動画研修を使用し、正規職員4回／年、契約職員1回／年)									
	③しおかぜヘルパーと連携を図り、情報共有を行う									
	(評価)									
	①訪問介護事業の法定研修以外の知識について疑問に思ったことを随時調べたが計画性に乏しかった									
	②youtube等の動画研修を4回実施する予定であったが2回しか実施できなかった									
	③毎月サ責会議を実施し情報共有や連携を図り年度当初より連携ができるようになった									
研修・セミナー	■職員研修計画と実績									
		研修 名称	参加実績	研修 名称	参加実績					
		虐待防止(動画)	中地・山崎							
		身体拘束(動画)	中地・山崎							
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果									
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果					
		ヘルパー会議	利用者の詳細な情報やサービス提供について全員で共有できた							
		事故予防委員会	転倒の危険性が高い利用者様に対してはケアマネと連携できた							
		感染予防委員会	感染症予防の勉強会を通じて今シーズン感染症は発生しなかった							
		虐待防止委員会	虐待案件と思われる事案は発生していない。							
		法人相談員会議	各施設の利用者等の動向を把握できた。							

防 災 ・ 災 害	■災害訓練計画・実績				
		訓練予定月	実施月	訓 練 目 的	訓練評価
		7月	7月	BCP(災害)	災害のシュミレーション実施。ハザードマップを使用し、利用者様の家がどのようなリスクがあるか把握し、訪問ルートをシュミレーションできた。
		11月	11月	BCP(感染症)	ガウンテクニックの実践練習を実施。実際に訪問時に必要な物品等の確認も併せて行えました。
行 事 ・ イ ベ ン ト	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)				
	月 度				
	4 月				
	5 月	虐待防止・身体拘束			
	6 月	接遇マナー研修			
	7 月	BCP勉強会(災害)			
	8 月				
	9 月	認知症研修			
	10月				
	11月	BCP勉強会(感染症)			
	12月				
	1 月	事故対応研修			
	2 月				
		ご利用者様アンケートの実施 事業所自己点検			
	3 月	法令順守			
(総評) 順調に利用者様も増えて、年度中盤には安定した運営ができた。新規依頼も基本的に断る事はありませんでしたが、サ責の業務負担の増大もあり、業務改善が急務となりました。記録や計画書・連絡方法などなるべく最適化を図ってきましたが、訪問は1対1なので業務のスリム化の効果はあまり大きくなかった。以前に比べサ責会議などを通じ依頼のあった利用者様の調整など、事業部間で情報の共有を図る等連携強化や訪問の効率化には取り組めたとも思います。今後の課題としては以前からの流れで業務にあたっている所が散見されるので、現状から改善に向けての意識の変革が必要だと思いました。 ○収入当初予算 ¥9,564,875 実績(概算)¥12,748,816 ○稼働率(計画)42, 2% 実働77. 7%					